



## 「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
県内外の高校生が将来に向けて具体的な目標を持ち、それぞれの目標に向かって学習意欲を高めていけるよう、第一線の大学研究者等を講師に迎え、講演とともに生徒と身近に意見交換や交流を行います。												
[事業内容]												
夏休み中に、東京から有識者と都内高校生を呼んで、第一線の大学研究者等による講演や、ふるさと福井の課題をテーマとしたフィールドワークを実施 開催日 平成30年8月中旬(2泊3日) 参加者 高校生80名程度(県内生40名、県外生(東進ハイスクール)40名) 会場 嶺南地方												
[受益者] 高校生						[想定される受益者数] 80人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
高校生80名が参加し、地方創生プロジェクトの発表など、課題解決能力の育成が図られた。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—								□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,253				1,253									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移			1,856	1,600	1,390	1,253								
2月現計予算額の推移			1,856	1,600	1,390									
決算額の推移			970	1,435										
前年度までの 主な増減理由	会場使用料、バス借上料を実績に基づき見直したため減額。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標)						県内外の高校生によるフィールドワーク等を実施し、国際的な人材づくりを目指しており、定量的に成果を把握することは困難である。							
	実績													
活動指標	参加生徒人数	(目標)	(80)	(80)	(80)	(80)	本事業に参加した生徒数							
		実績	61	80	80									
他県の状況	①高校生のための次世代リーダー養成塾（対象：高校生190名） 2004年より福岡県を中心に開催。2週間にわたり、講演やディスカッションを行う。 ②プラチナ未来人財育成塾@会津（対象：中学生100名） 2015年より会津若松市役所内の事務局が運営。7日間にわたり、講演やグループディスカッションを行う。					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

## 中高一貫教育指導力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
中高一貫教育校（併設型・連携型）での中高一貫教育の円滑な推進のために、指導体制を整備、充実する。												
[事業内容]												
<p>○高志中学校・高等学校の指導体制の整備と充実</p> <p>①スーパーティーチャー、エキスパートティーチャーの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーティーチャー 3名 : 各教科 年6回</li> <li>・エキスパートティーチャー 3名 : 各教科 年3回</li> </ul> <p>②スーパー校長による研修 2名 : 年1回</p> <p>③「高志学」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外研修 : インターンシップ</li> <li>・校内研修 : 通年</li> </ul> <p>○連携型中高一貫教育校（3地域）の指導充実</p> <p>①スーパーティーチャーの配置 各校1名 : 年2回</p> <p>②課題探究型の授業モデルの開発 各校年3回</p>												
[受益者] 高志中学生(270)、高志高校1年生(250)、連携型中高一貫教育校中学3年生(100)						[想定される受益者数] 620人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
スーパーティーチャー、スーパー校長の配置、研修を実施し、指導体制の整備を図った								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 中高一貫教育指導力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,506				3,506								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移			2,345	2,443	3,513	3,506							
2月現計予算額の推移			2,345	2,443	3,513								
決算額の推移			1,783	1,301									
前年度までの 主な増減理由	平成27年度1期生90名、平成28年度2期生90名+1期生90名の180名、平成29年度3期生90名+2期生90名+1期生90名の270名と生徒数が増加。 平成29年度に3学年体制が整い、全学年を対象にスーパーティーチャー等を配置するなど、指導体制の整備・充実を図ったため増額。												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						スーパーティーチャーを配置する等指導体制の整備・充実を図っており、定量的に成果を把握することは困難である						
活動指標	(目標) 実績						同上						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## ふるさと教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中、高校生が、ふるさと福井の先人の生き方や考え方について学び、自身の生き方や考え方と照らし合わせて、自分の考えを他者に語ったり、文章にまとめたりする機会を増やすため、教材「ふるさと福井の先人100人」を作成</li> <li>・ 家庭科の授業を通して福井で暮らすことのイメージを具体化したライフプラン学習充実のため、家庭科の副教材「私のしあわせライフプラン」の作成</li> </ul>												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材「ふるさと福井の先人100人」の印刷 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成31年度の県内全ての中学1年生に配付</li> <li>・ 中学校における活用 道徳の時間のうち20時間を使い、指導内容にあわせ、先人の生き方や考え方について計20人を学習 道徳の学習内容のうち「生命尊重」「強い意志」「勤勉努力」「郷土愛」等で先人の生き方や考え方について、感じたことや思ったことについてクラスで発表</li> <li>・ 高校校における活用 新入生の中学校での学習を考慮して、高校3年生までに先人50人の生き方や考え方を学べるよう全ての県立高校で活用を促進 先人の人生から参考になった生き方や考え方をまとめ、進路選択の指針として活用</li> </ul> </li> <li>○副教材「私のしあわせライフプラン」の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者・定住支援課など他課と連携しライフプラン学習の副教材を作成</li> <li>・ 県立高校1年または2年の家庭科の授業に活用</li> </ul> </li> </ul>												
[受益者] 中学校1年生、高校1年生						[想定される受益者数] 14,540人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
教材「ふるさと福井の先人100人」を改訂し、県内全ての中学1年生に配付し、中学校では道徳の時間に、高校では総合的な学習の時間を中心に活用した。副教材「私のしあわせライフプラン」を家庭科の授業を中心に活用した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## ふるさと教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	3,009				3,009											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移		1,076	4,140	13,512	2,991	3,009										
2月現計予算額の推移		1,076	1,585	15,073	2,991											
決算額の推移		1,076	1,453	14,779												
前年度までの 主な増減理由	28年度は、「ふるさと福井の先人100人」を全ての中学生、高校生に配付したが、29年度以降は、新中学1年生にのみ配付のため減額。															
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	(目標) 実績						ふるさとへの愛着や誇りを醸成するために行っている事業であり、定量的に成果を把握することは困難である。									
活動指標	読本配付数 (目標) 実績			(58,000) 58,000	(17,050) 17,050	(16,000)	教材「ふるさと福井の先人100人」、副教材「私のしあわせライフプラン」の配布数									
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)									

## 高校生学力向上推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨								
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算  □ 補助金  □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]					関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]											
[事業目的]																			
<p>高校生の難関大学や地元大学への進学意欲を高め、進学希望を実現するために、教員の受験指導力や高校における進学指導体制、生徒への受験対策を強化する。</p>																			
[事業内容]																			
<p>(1) 高校における教員の指導力向上</p> <p>① 指導力向上対策 教科指導力向上対策として、新テスト（大学入学共通テスト）に対応するための教員研修・生徒に対する講演会を実施</p> <p>② 授業研究会への支援 「難関大学で導入される推薦・AO入試に対応できる授業」や「教科書の進度を速め入試問題演習を強化する授業」等の授業研究を支援</p> <p>(2) 高校生が進学目標を明確にするための支援</p> <p>① 生徒の受験意欲向上対策 高校入学時から志望を高く持ち、3年間を見通した進路指導を実施 1年 4月、生徒・保護者対象に大学進学セミナーを実施、8月に東大合宿を実施</p> <p>② 高校生とOB大学生との語り場を開催 1年生に対して、高校のOB・OGである大学生が、グループで語り合う機会を設け、大学進学への関心を向上</p> <p>③ 大学教授や高度技術者による先端授業を実施 2年生に対して、先端分野に携わる研究者や技術者による授業を行い、専門分野への関心を向上</p> <p>④ 生徒の学習意欲や学習状況を把握するための調査を実施</p> <p>(3) 受験対策講座の開催（大手予備校講師による入試対策セミナーを開催）</p> <p>① 1、2年生向け実力養成チャレンジセミナー ② 1、2年生向け大学特別講座 ③ 3年生向け進路実現セミナー ④ 3年生向け大学入試センター試験プレテスト ⑤ 3年生向け直前入試対策セミナー ⑥ 到達度確認テストの実施</p> <p>(4) 県内既卒生対象の学習支援体制の強化</p>																			
[受益者] 県内全高校生						[想定される受益者数] 22,500人													
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				事業名		市町との連携状況											
[事業の評価]																			
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価											
・高校1年生のための大学進学セミナーの実施 ・高校1年生対象 東大合宿の実施 ・受験指導エキスパート研修を実施 藤島、高志、武生、若狭の数英理の全教員を対象 ・進路実現セミナーの実施 ・1、2年生向け実力養成チャレンジセミナーの実施 ・1、2年生向け大学生による特別講座の実施 ・県立高校のすべての生徒に対して「高校生学習状況調査」を実施し、調査結果に基づき、グループ学習の工夫等に取り組むなど、理解しやすい授業への改善を推進 ・到達度確認テストの実施				大学入試共通テストに対応するための教員研修・生徒向け講演会の開催等、大学進学の支援を拡充する。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充		<input type="checkbox"/> 縮減		<input type="checkbox"/> 終期の見直し		見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 完了							
								<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> その他							

## 高校生学力向上推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
区分	事業費	国庫	起債	その他	繰入金	一般財源	国庫、その他財源の名称等				
予算額	51,424				5,912	45,512	教員指導力向上基金				
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点			
当初予算額の推移			26,656	24,545	45,392	50,221	51,424				
2月現計予算額の推移			26,656	24,545	48,875	50,221					
決算額の推移			24,006	22,935	44,794						
前年度までの 主な増減理由		H28から実施している、県内既卒生対象の学習支援体制の強化に伴う増額。									
[成果指標等の推移]											
区 分			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生徒から見た授業のわかる度指数 (目標)		(76.0%)	(76.0%)	(77.5%)	(77.5%)	(78.0%)				
	実績		76.0%	77.2%	76.6%	76.8%					
活動指標	大学進学サポートセンター登録者数 (目標)				(30)	(55)					
	実績				77	78					
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 英語力向上事業 (役割分担)  英語力向上事業は、中高生の外部検定受験を促進するなど英語力向上を推進している。			

## 高校生ボランティア活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県					■ 自治事務		■ 実行予算	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務		□ 補助金	事業開始 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)		
補助率	—							□ その他	経過年数 3 年			
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]					関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]				
[事業目的]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生が主体となり実施するボランティア活動を支援する。</li> </ul>												
[事業内容]												
<p>○生徒が主体となり実施するボランティア活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動を実施する際に必要な消耗品を支援</li> <li>・ 保険料を支援</li> <li>・ 各校において生徒会担当教員と関連団体との会議を（連絡、反省）実施</li> </ul>												
[受益者] 全高校生						[想定される受益者数] 16,997人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
高校生のボランティア活動を支援するために、高校教育課と社会福祉協議会および市町社会福祉協議会と情報交換会を実施するとともに、市町社会福祉協議会や市町自治体、地域団体と各学校の生徒会担当者および生徒会が打合せを行い、ボランティア情報の共有のためのネットワークを構築する。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 高校生ボランティア活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	直営					H28 年度 経過年数	3 年					
補助率	—					3 年						
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	854				854							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移				854	854	854	生徒が積極的に地域のボランティアに参加する際の損害保険料を拡充する。					
2月現計予算額の推移				854	854							
決算額の推移				185								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	ボランティア活動参加者数 (目標)			(16,000)	(18,000)	(20,000)	本事業を通じて、主体的にボランティア活動に参加した生徒数					
	実績			21,875								
活動指標	(目標)											
	実績											
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

# 主権者教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
選挙年齢の引き下げにともない、生徒たちに権利を受けると同時に責任や義務があることなど、社会を担う人としての自覚を育成していくために、時事問題に関する討論型の授業や模擬選挙、模擬議会等の実践的な学習に係る教員研修を実施する。												
[事業内容]												
<p>(1) 各校の生徒会役員を対象に、主体的な生徒会活動に係る研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者を講師として、生徒会活動の課題をテーマに、多角的な合意形成について学習</li> </ul> <p>(2) 時事問題に関する討論型の授業や模擬選挙、模擬議会等の実践的な学習に係る教員研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校5名の参加（地歴・公民科以外の教科の未受講者を中心に募集）</li> <li>・県選挙管理委員会および討論型の授業等の有識者を講師として招聘</li> <li>・校内研修会の実施（研修会参加者が講師を務め、実践的な学習に係る校内ワークショップを実施）</li> </ul> <p>(3) 「指導事例集」を拡充し、全ての県立学校の教員に配付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「指導事例集」や国が作成した副教材を活用した授業、および模擬議会等を各教科で実施</li> <li>・地歴・公民科以外の教科における指導事例をまとめた「指導事例集」の拡充</li> </ul> <p>(4) 選挙管理委員会による出前授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生のうちに必ず受講できるよう各校と市町選挙管理委員会で計画・実施</li> </ul>												
[受益者] 全高校生						[想定される受益者数] 22,747人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
・主権者教育指導者講習会を嶺北で1回実施(155名参加) ・公職選挙法改正に伴う生徒指導上の留意点や生徒会活動の課題から政治を考える実践的な学習に関する研修を実施した。 ・県内の優れた「指導事例集」を作成し、全ての県立学校の教員に配付、および時事問題に関する討論型の授業や模擬選挙、模擬議会等の実践的な学習を拡充する。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 主権者教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	119				119									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移				118	447	119	有識者を招き各県立高校の生徒会役員を対象に主体的な生徒会活動に係る研修会を実施する。							
2月現計予算額の推移				118	447									
決算額の推移				21										
前年度までの 主な増減理由	平成29年度は「指導事例集」を印刷し、全ての県立学校の教職員に配付したが、平成30年度はそれを活用して実践的な学習を拡充する。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績						生徒たちの主権者としての資質・能力を一層拡充するための教員研修については定量的に成果を把握することは困難である							
活動指標	教員研修参加者数 (目標) 実績			(100) 147	(160) 155	(160)								
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 観光学習サポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県					■ 自治事務		■ 実行予算	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務		□ 補助金	事業開始 年度	経過年数		
補助率	—							□ その他	3 年			
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な産業 ]		政策 [ 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略 ]		関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
魅力ある福井の観光資源を高校生の視点から発信するために、これまでの外部講師の授業を拡充するとともに、観光連盟、市町観光協会と連携したフィールドワークを実施し、観光プランの提案や観光ガイド等を実施し情報発信能力を高める。												
[事業内容]												
<p>○県内外で活躍する観光の専門家の授業を実施</p> <p>①観光振興課が主催する観光アカデミー講師や観光協会職員を高校へ派遣 [各校 年1回]</p> <p>②県立大学地域経済研究所教授等を招へい [年1回]</p> <p>○高校生の視点から観光資源を発見するフィールドワークを実施</p> <p>・観光地での調査・研究や、販売実習等を行い地域の魅力を体験するフィールドワークに講師を派遣 [各校 年1回]</p> <p>○各校の取組を共有し、情報発信の場とする成果発表会を実施</p> <p>・成果発表会をふまえた次年度の観光プランの策定や、情報発信能力を高めるために専門家を派遣 [年1回]</p>												
[受益者] 観光科目を受講する高校生						[想定される受益者数] 287人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		越前市観光ボランティア協会による外部講師授業を実施 小浜商工会議所とともに空き店舗活用のプラン提案とイベント開催 大野商工会議所によるまちづくりに関する講演会や座談会を実施 敦賀市観光交流課職員による外部講師授業とフィールドワークを実施				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
フィールドワーク実施回数は21回で、昨年19回を上回っている。 外部講師派遣は15回で昨年10回を上回っている。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 観光学習サポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	910				910											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点									
当初予算額の推移				888	888	910	情報発信の場としての情報交換会を開催する。									
2月現計予算額の推移				888	888											
決算額の推移				601												
前年度までの 主な増減理由	フィールドワークに必要なバスについて、実績に基づき台数を見直したため減額。															
[成果指標等の推移]																
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	(目標) 実績						本事業は観光を体系的に学ぶ授業の充実を支援するためのものであるため、定量的に成果を量ることは困難である。									
活動指標	観光プランコンテスト等 への情報発信数 (目標) 実績			(6) 3	(9) 2	(9)										
他県の状況	石川、富山なし	関連事業の有無・ 役割分担				<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 観光教育推進事業 (役割分担) 観光営業部の観光教育推進事業は、社会人向けのものであり、高校の授業に対する予算はないが、観光営業部職員や観光連盟職員等を高校に派遣することは行っている。本事業では、県内外の大学教授や民間講師、観光アカデミーとの連携、フィールドワークへの支援について担当する。										

## 高校生県内企業訪問・職業理解推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県					■ 自治事務		■ 実行予算	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務		□ 補助金	事業開始 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
補助率	—							□ その他	経過年数 3 年			
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 人口減少に歯止めをかける徹底戦略 ]					関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]			
[事業目的]												
普通科系高校において、ふるさと福井の産業および企業の魅力について学ぶ機会を創設し、県外大学などに進学した学生が福井で働くイメージをもち、県内に戻って働く若者を増やす												
[事業内容]												
<p>○普通科系高校1年生の中から希望者を募集し、国内シェアおよび海外シェアが高く、女性活躍推進など労働環境改善に熱心な県内企業を選び、生徒一人あたり2社程度、バスを利用して夏休みに企業訪問を実施</p> <p>※バスの運行ルート例 参加者の多寡によりルートを変更</p> <p>第1ルート 坂井 → 福井 → 丹南 → 福井 → 坂井      第4ルート 丹南 → 福井 → 奥越 → 福井 → 丹南  第2ルート 奥越 → 福井 → 坂井 → 福井 → 奥越      第5ルート 嶺南 → 丹南 → 福井 → 丹南 → 嶺南  第3ルート 福井 → 丹南 → 嶺南 → 丹南 → 福井</p> <p>○訪問企業別に事前質問を集約したり、レポートを作成させたりする等、事前・事後指導を行い、普通科系高校生の職業観育成を図る</p>												
[受益者] 普通科系高校1年生						[想定される受益者数] 600名						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
7月から12月にかけて、730名の生徒が36コースに分かれて38社に企業訪問を実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 高校生県内企業訪問・職業理解推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,664				1,664									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移				1,277	1,682	1,664	引き続き、普通科高校の生徒の県内企業訪問の取り組みを実施し、県に企業への理解・関心を高めていく。 訪問企業別に事前質問を集約したり、レポートを作成させたりする等、事前・事後指導を拡充する。							
2月現計予算額の推移				1,277	1,682									
決算額の推移				1,275										
前年度までの 主な増減理由	平成29年度より、企業訪問のコース数を12から20に増加したため、それに伴う増額。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績						普通科系高校生が福井の企業や職業について理解を深めるために実施しており、定量的に成果を把握することは困難である。							
活動指標	参加生徒数 (目標) 実績			(600) 720	(600) 730	(600)								
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 福井プレカレッジ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 人口減少に歯止めをかける徹底戦略 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
「課題研究」等の実践を通して、高校で育む資質と大学が求める資質の橋渡しを行い、大学教育に必要な主体性や学ぶ意欲、探究する力を身につけ、県内国公立大学を志望する生徒を増やす。												
[事業内容]												
○対象 羽水高校 武生東高校 大野高校 金津高校（４校） の２学年 のべ９００名 ○実施時期 ７～８月 ○内容 ・課題研究 : 福井大学・福井県立大学で２日（３０名／校 のべ１２０名） ・課題研究支援 : 各校の課題研究への教員招聘、実験・実習教材の購入支援												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] ９００人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井テクノロジーアカデミー (実績)				市町との連携状況						
		平成２６年度 参加者数 １年生 ９０名 平成２７年度 参加者数 １年生 ５７名 ２年生 ４７名 平成２８年度 参加者数 ２年生 ８０名										
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた３０年度の変更点				事業評価				
９０名募集のところ、参加者は８０名。大学ゼミ企業ゼミは計画通り実施し、参加者の感想は良好であった。 ２９年度は、生徒が大学に出向く事に加え、大学教員が学校の教育活動に参加することで、高大連携を活発化する。また、学校を指定することで生徒の参加者増加を図る								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

# 福井プレカレッジ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分  <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度		
事業実施方法	直営									事業開始 年度			経過年数	5 年
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,012				2,012									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		7,491	5,331	2,626	2,235	2,012	実績に伴う経費等の見直しによる減額							
2月現計予算額の推移		3,680	3,905	2,259	2,030									
決算額の推移		1,809	3,905	2,259										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績						県内公立大学の進学志望者を増やし、福井の産業を支える人材を育成するために実施しており、定量的に成果を把握することは困難である。							
活動指標	参加生徒数	(目標) 実績	(100) 90	(200) 104	(90) 80	(120)						(120)		
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

# ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
18年教育の中で、個性や能力に応じたサイエンス教育を実施し、先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 先端科学を研究している京都大学との高大連携事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 本県教育委員会と高大連携協定を締結した京都大学から講師を招聘</li> <li>② 京都大学での講義・実習を開催</li> </ul> </li> <li>(2) 全国科学オリンピック・科学の甲子園への上位入賞対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 全国科学オリンピック本選や数学オリンピックへの参加支援</li> <li>② 科学の甲子園への上位入賞対策を実施</li> </ul> </li> <li>(3) ふくい理数グランプリの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校部門(数学、物理、化学、生物、地学)を開催</li> </ul> </li> <li>(4) ふくいサイエンス顕彰(南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞) <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生部門(最優秀賞1、優秀賞2)、高校生部門(最優秀賞1、優秀賞2)</li> </ul> </li> <li>(5) ふくいサイエンスフェスタの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県合同課題研究発表会および講演会の実施</li> </ul> </li> </ul>												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 1,285人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
先端科学を研究している京都大学との高大連携事業、全国科学オリンピック・科学の甲子園への上位入賞対策、ふくい理数グランプリの開催、南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞の表彰、ふくいサイエンスフェスタにおける事例発表会を実施または予定している。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,124			(諸) 402	2,722	国立研究開発法人 科学技術振興機構委託								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		5,381	5,014	3,755	3,433	3,124	京都大学連携事業において、教員研修を実施し、高等学校の課題研究の充実を図る。全国科学オリンピックへの上位入賞対策事業参加生徒数の増加を図る。							
2月現計予算額の推移		5,381	5,014	3,755	3,433									
決算額の推移		5,112	4,786	2,496										
前年度までの 主な増減理由	京都大学での講義・実習するための経費を見直したため減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	全国科学オリンピック上位入賞者数 (目標) 実績	(5) 1	(5) 1	(5) 1	(5) 1	(5) 1	本事業を通じて、全国科学オリンピックで上位入賞を果たした生徒・チーム数							
活動指標	ふくいサイエンスフェスタ参加生徒数 (聴講) (目標) 実績	202 202	(210) 331	(220) 292	(220) 292	(220) 292	本事業を通じて福井サイエンスフェスタに参加した生徒数							
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]															
<p>地元就職する高校生が産業界で活躍できるスキルアップを応援するために、社会から求められるニーズや技術進展に対応した実践的な専門教育の充実を図る。</p>															
[事業内容]															
<p>地元就職する高校生が産業界で活躍できるスキルアップを応援</p> <p>①地域活性化プロジェクト ・高校生自らが地域へ出かけて課題を調査し、高校生の視点から解決策を提案・実行することで、地域や地元産業を理解し、ふるさと福井への思いを深化</p> <p>②実践的な専門教育 ・企業と連携した商品開発や成長分野における課題研究により実践力を育成 ・高難度有資格者による技術指導を、12校（工25・農11・水1・商7・家4・福1の40学科）の生徒を対象に、1回2時間・年3回実施 ・長期企業実習を職業系高校で実施</p> <p>③産業人材コーディネーター ・求人開拓や地元企業とのマッチング等、生徒の進路希望実現に向け指導・助言を行う産業人材コーディネーターを配置</p> <p>④県内企業への就職促進 ・県内企業でのインターンシップを職業学科・総合学科設置校13校、定時制7校、就職者の多い普通科設置校7校の2年生を中心に実施</p>															
[受益者] 職業系高校等の生徒および就職希望の生徒						[想定される受益者数] 2,200人									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
産業人材コーディネーター14人を職業系高校を中心に、就職者の多い普通科高校、総合学科高校および定時制高校にも配置した。長期企業実習は職業系高校に普通科併設校を加えた12校で実施した。坂井高校では学期を通じた週1日の企業実習（デュアルシステム）を実施し参加者の75%が受入先へ就職した。インターンシップは1,900人以上が参加し、勤労観や職業観が育成され専門分野の知識や技能の定着・深化が図られた。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	19,610	4,205			15,405	教育支援体制整備事業補助金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移				20,108	19,892	19,610								
2月現計予算額の推移				16,070	15,369									
決算額の推移				13,875										
前年度までの 主な増減理由	H29年度は前年度実績に基づき、インターンシップにかかる経費等を見直したため減額。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	福井フューチャーマイスター認定者数 (目標)			(1,064)	(1,900)	(1,900)	28年度の認定実績は県立と私立を合わせて1,854人。未申請の私立高校や学科に対し、再度、福井フューチャーマイスター制度の周知を行い、認定者数を増加させる。 1,854人+(未申請校の対象生徒数合計：約270人×0.20)=約1,900人							
	実績			1,854	1,789									
活動指標	高校生による地域貢献 (目標)			(12)	(13)	(13)	職業系と総合学科の13高校が地域の課題を1件解決							
	実績			12										
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井フューチャーマイスター事業 (役割分担)  福井フューチャーマイスター事業では、資格取得のための支援および認定、表彰を実施し、就職試験に活用していく。							

# 福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨					
事業主体	県					事務区分 ■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度					
事業実施方法	補助															
補助率	2/3および1/2															
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]					関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]																
専門資格取得や検定試験合格をはじめ、コンクール、競技会等での入賞に向けた生徒の意欲や活力の向上を促進する。																
[事業内容]																
○将来にわたり、地元企業において活躍できる能力や態度を育成																
①福井フューチャーマイスターとしてゴールド、シルバー、ブロンズのグレードで認定および表彰（524千円）																
・資格取得、コンクール入賞および企業実習、地域貢献等を難易度に応じて得点化（ゴールド、シルバー、ブロンズのグレード認定）																
・福井フューチャーマイスターの最高得点者を「福井フューチャーマイスタートップ賞」として表彰																
②受検料補助（10,476千円）																
・県が推奨する難易度の高い資格試験は2/3補助																
・乙種4類危険物取扱者や乙種1・4類消防設備士、潜水士、国内旅行地理検定3級は1/2補助																
[受益者] 職業系高校の生徒						[想定される受益者数] 5,200人										
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				市町との連携状況										
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価								
福井フューチャーマイスターとして、職業系学科等で学ぶ高校3年生1,854名を認定。農業・工業・商業・水産・家庭・福祉・総合学科の最高得点者を「福井フューチャーマイスタートップ賞」として表彰。 地元企業に就職してから活躍できるスキルアップを応援するため、資格試験に必要な受検料の補助を行い、成果指標の達成を目指す。								□ 拡充		□ 縮減		□ 終期の見直し 見直し額				
								■ 継続		□ 休止		□ 完了				
								□ 整理統合		□ 廃止		□ その他				

# 福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	補助													
補助率	2/3および1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	11,000				11,000									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移			6,542	10,948	10,506	11,000	資格取得への積極的な取り組みを図りつつ、制度の見直しに基づきフューチャーマイスターのグレードの価値を補償する							
2月現計予算額の推移			6,472	10,948	10,506									
決算額の推移			4,456	9,074										
前年度までの 主な増減理由	H28はマイスター認定者の割合が大きく想定を超えたので、H29以降は認定に重みを持たせるために対象者の7割が認定されるよう、区分表の見直しを行い、想定内の認定割合に近づくよう調整したため減額。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	福井フューチャーマイスター認定者数	(目標)		(1,064)	(1,900)	(1,900)	28年度の認定実績は県立と私立を合わせて1,854人。未申請の私立高校や学科に対し、再度、福井フューチャーマイスター制度の周知を行い、認定者数を増加させる。1,854人+(未申請校の対象生徒数合計：約270人×0.20)=約1,900人							
		実績		1,854	1,789									
活動指標		(目標)												
		実績												
他県の状況	都道府県単位では、全国初の認定・支援制度				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]						
[事業目的]													
最先端の専門知識や技術および幅広い見識に立った教科指導力の向上を図るとともに、その教員を核として教員全体の資質向上と学校の活性化を図る。													
[事業内容]													
<p>○職業系学科の担当教員を県内・県外の試験研究機関、民間企業等に派遣し研修を実施</p> <p>(1) 工業、農業、水産、家庭、商業の職業系科目を専門とする教員や実習助手が対象</p> <p>(2) 県内、県外の試験研究機関、民間企業、高等学校等で研修し、最新の専門知識や技術を習得</p> <p>(3) 工業、農業、水産、家庭、商業から選出</p> <p>(4) 県内研修は、夏期休業中等の5日間程度。県外研修も最大5日間程度。</p> <p>(5) 研修成果の教育現場への還元</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高教研各部会等での研修報告や部会誌での報告書掲載</li> <li>・研修で学んだことを取り入れた副教材の作成 など</li> </ul>													
[受益者] 職業系学科担当教員						[想定される受益者数] 9名							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職業系学科教員授業力向上事業 (実績) 「集中セミナー」と「教員短期派遣研修」2つで構成され、「集中セミナー」は、平成24～26年度で、工業・農業の8類系が全て終了した。のべ200人弱の教員が参加し、高度で最新の技術、技能についての研修が実施できた。「教員短期派遣研修」については、平成24～26年度の3年間県内のみで実施し、平成27年からは、県外を拡充した。				市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
平成29年度は、農業2名、工業2名、商業2名、水産1名の計7名が研修を実施。農業、工業、商業については、それぞれ2名の内1名ずつの計3名が県外研修を実施。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H24 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	556			(繰入) 556		教員指導力向上基金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		1,033	971	632	632	556	前年度と同様							
2月現計予算額の推移		731	760	300	235									
決算額の推移		631	561	300										
前年度までの 主な増減理由	事業実績に伴い、必要経費を見直したため減額。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標)						生徒に対する専門教育の充実のため職業系学科教員の技術・技能の向上が図られているが、定量的に成果を把握することは、困難である。							
	実績													
活動指標	派遣教員数	(目標)	(6)	(9)	(9)	(9)	本事業を通じて研修を受けた教員数 43名							
		実績	6	7	7	7								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## 実践的農業教育強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
6次産業化や新たな農業の変化に対応できる農業従事者を育てるために、校外農事組合法人や専業農家等と連携し、実践的教育を強化する。												
[事業内容]												
<p>○各農業高校で重点テーマを設定し、各学年で年間を通じて校外実習を強化（実践的教育の推進）</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 1年から3年までの各学年に対し、年間を通じた校外実習（延べ15日）を実施</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 校内の他学科や公設試験研究機関、大学等と協力し、生産から商品開発、加工・販売までの流れを学習できるように連携強化（食品加工）</p> <p>○生徒のグループ活動を支援（資格試験、大会やコンクールに向けた自主活動）</p> <p>○農業経営学習の強化（高度園芸技術や商品開発、販路の確保と拡大、管理手法を学習）</p>												
[受益者] 若狭東高校、福井農林高校、坂井高校の生産および加工に関する学科の生徒						[想定される受益者数] 約660人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
校外実習の実施（参加者数466人）により、興味関心を高め、実践的な知識・技術を身に付けたり、資格試験のための講習会開催により成果指標は達成した（合格者数：日本農業技術検定3級55人、土壌医検定3級7人）。				経営学習の強化により農業に対する興味関心を高め、実践的な知識・技術を身に付ける。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# 実践的農業教育強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,885				2,885							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移		733	645	595	505	2,885	新たに農業経営学習への取り組みを強化することで、実践的な知識・技術を身に付けた将来の福井の農業を担う人材を育成し、成果指標の達成を目指す。					
2月現計予算額の推移		733	645	595	505							
決算額の推移		450	318	200								
前年度までの 主な増減理由	事業実績に伴い必要経費を見直したため減額。											
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	資格試験取得生徒数 (目標)			(58)	(60)	(60)	本事業を通じて、資格を取得した生徒数					
	実績	42	56	62								
活動指標	校外実習参加生徒数 (目標)			(445)	(450)	(450)	本事業の校外実習参加生徒数					
	実績	423	442	466								
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県：地域産業の担い手育成のため「産業連携による人材育成推進事業」により、農・工・商で学ぶ生徒を対象に、長期企業実習、専門家による実践的指導、コンテスト開催を実施。</li> <li>・岐阜県：グローバル人材の育成を目指した「専門高校生国際化推進事業」を行い、農業はブラジルとオランダで体験的な学習を主体とした研修を実施。</li> </ul>					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井フューチャーマイスター事業 (役割分担)  各農業高校で重点テーマを設定し、各学年で年間を通じた校外実習の強化や生徒のグループ活動(資格試験、大会・コンクールへの出場入賞を目指す活動)を支援する。 また、関連事業で難関資格の受験料に対する補助を実施し資格取得の促進を図る。				

## スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨
事業主体	県					■ 自治事務		■ 実行予算	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営							<input type="checkbox"/> 補助金	事業開始 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	
補助率	—					<input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> その他	経過年数 4 年		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]					関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]			
[事業目的]											
繊維などの地域産業の技術を継承し、新たな産業創出の担い手となる発想力豊かな技術者を育成する。											
[事業内容]											
社会の変化や産業の動向に対応し、社会の第一線で活躍できる専門的な人材を育成											
事業内容	地域資源を活かすための課題研究等を通じた研究活動を実施や、最新の知識・技術の習得										
実施校	県内職業系高校										
事業期間	30～32年度										
[受益者] 科学技術高等学校の生徒						[想定される受益者数] 525人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業 (実績) 県立若狭東高校 H27～H29 薬用植物の産地化や植物工場などの高度な施設園芸を取り入れ、生産から調理・加工・販売までを実践する独自の学習プログラムを実施					市町との連携状況					
[事業の評価]											
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価			
若狭東高校のSPH最終年度であり、6月の第1回運営指導委員会では、29年度の進捗状況が報告され、今後の方向性を協議した。12月の運営指導委員会では、1年間の事業の評価を協議した。 植物工場など高度な施設園芸に対応するために、温室内に整備した水耕栽培装置を使つての栽培実験や、平成29年度には学校独自の科目設定を実施した。また、薬用植物の産地化に対応するために栽培する薬用植物を使つた商品開発や薬膳メニューの開発にも取り組んだ。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	7,591	7,591				文部科学省 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業委託								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移			8,000	3,417	3,031	7,591	平成30年度からの新規採択となれば、初年度8,000千円、2～3年目4,000千円							
2月現計予算額の推移			8,000	3,417	3,031									
決算額の推移			6,427	2,811										
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	関連企業等への就職者数 (目標)		(10)	(10)	(15)	(50)	スーパープロフェッショナルハイスクール指定校で専門的な知識を学んだ後、その知識・技術を活かし関連企業等に就職した生徒数							
		実績		11	12									
活動指標	講習会等開催数 (目標)		(10)	(15)	(20)		スーパープロフェッショナルハイスクールの取り組みを地域に発信する講習会の開催数							
		実績		14	18									
他県の状況	平成26年度指定校10校 (うち石川県立工業高校) 平成27年度指定校10校 (うち若狭東高校) 平成28年度指定校10校 平成29年度指定校10校					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## スーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	直営			事業開始 年度					経過年数			
補助率	—			5 年								
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
高志高校をグローバルな社会課題を発見・解決できる人材の育成に取り組む県立校高校に指定し、英語コミュニケーション能力の向上を図るとともに、国際化を進める大学・企業等と連携して、海外フィールドワークを含む課題探究型学習を行うことにより、将来国内・海外の大学においてグローバルな研究を行う素地を育成する。												
[事業内容]												
○高志高校												
①運営指導委員会： SGH事業の運営に関して、専門家や学識者等から成る第三者委員会が指導・助言する。												
②グローバル探究： 大学・企業と連携し、専門家から指導を受けながら探究活動に取り組む。												
③東京研修： 東京大学社会科学研究所の教員による講義を受け、東アジア研究についての新たな視点を得るとともに、課題研究をさらに深める。 立教大学訪問でのリーダーシップ研修を通して、グローバル・リーダーに必要とされる多角的なもの見方・考え方や表現力を養う。												
④グローバル講演会： 講師を招聘し、高度な研究に触れ、課題研究を深め、グローバル人材に求められていることを理解し、今後の学習に対する目標意識を高める。												
⑤グローバルミニ講演会： 世界の実情や諸問題について理解を深めるとともに。人々の希望に貢献するための支援のあり方について考える。												
⑥海外フィールドワーク： 海外の企業や大学・高校等に生徒を派遣し、課題解決学習、国際交流、職場研修等に取り組む。												
⑦その他												
[受益者] 高志高校生徒						[想定される受益者数] 840人（高志840）						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
高志高校において、探究活動、東京研修、グローバル講演会、海外フィールドワーク等の課題研究や、運営指導委員会などを実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## スーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		H26 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	直営					事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年					
補助率	—					H30 年度						
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,051	4,051				文部科学省 スーパーグローバルハイスクール事業委託						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移		12,000	15,689	23,370	18,966	4,051	H30年度はスーパー・グローバル・ハイスクールの新規指定が行われなかったため、高志高校のみで事業実施					
2月現計予算額の推移		12,000	9,843	6,110	3,170							
決算額の推移		7,619	9,827	5,989								
前年度までの 主な増減理由	平成28年度以降は、高志高校に加え、新たに敦賀高校で採択を目指すため増額。なお、28年度は、新規採択を目指して予算計上していた敦賀高校が不採択となったため、2月補正で減額。											
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	将来留学したり、仕事で国際的に活躍したいと考える生徒の割合(%) (目標)						スーパーグローバルハイスクール指定校の生徒で、本事業を通じて将来国際的に活躍する職業等に就きたいと考えている生徒の割合					
	実績	67	72	69								
活動指標	SGH指定校数 (目標)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	県内のスーパーグローバルハイスクール指定校数					
	実績	1	1	1	1	1						
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SGH指定校 123校 (H26指定56校、H27指定56校、H28指定校11校)</li> <li>・SGHアソシエイト校 56校</li> <li>・石川県 金沢大学附属高校 (H26指定)、金沢泉丘高校 (H27指定)</li> <li>・富山県 高岡高校 (H26指定)</li> </ul>					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				

# JAXA宇宙出前講座開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県					■ 自治事務		■ 実行予算	事業開始年度	H30 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	H30 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務		□ 補助金	経過年数	1 年		
補助率	—							□ その他				
福井ふるさと元気宣言における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ]		政策 [ 福井から人材育成 ]		関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
平成31年度に開催される第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム福井大会に向けて県民の機運を高めるため、JAXA（宇宙航空研究開発機構）職員等によるSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校対象の出前講座を行い、宇宙や科学技術に関する興味・関心を高める。												
[事業内容]												
SSH指定校において、JAXA職員等が宇宙の研究・開発に関するテーマで講座を行い、宇宙に関する興味・関心を高め、探究活動に対する意欲・態度を育む。												
① 対象 高校1～2年生												
② 講座内容（例）												
・人工衛星の技術や観測データについて												
・国際宇宙ステーションについて												
・宇宙実験について												
③ 日程												
講義、実習を含む午前または午後の半日												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 160人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

# JAXA宇宙出前講座開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	895	447			448	地方創生交付金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移						895							
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						参加生徒の宇宙や科学技術に関する興味・関心を高めるために行うため、定量的に成果を把握することは困難である。						
活動指標	参加生徒数 (目標) 実績					(160)	本事業を通じてJAXA出前講座に参加した生徒数						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 発達障害児教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [		元気な社会 ]	政策 [	福井から人材育成 ]	関連する県の計画等	[	教育振興基本計画	]						
[事業目的]															
通常学級に在籍しながら個別指導を必要とする発達障害児（学習障害、注意欠陥多動性障害および高機能自閉症等）を対象に、ひとりひとりの教育的ニーズに即した教育支援を行うため、各特別支援学校が積極的に小・中学校等を支援する体制を推進する。															
[事業内容]															
<p>○特別支援学校による小中高等学校への巡回相談を実施</p> <p>ア 巡回相談実施校 特別支援学校 11校</p> <p>イ 巡回相談対象校 小学校（190校）、中学校（74校）、高等学校（28校：1分校含む）</p> <p style="padding-left: 20px;">・相談対象児童生徒のアセスメント実施や、相談記録等の作成</p> <p>○特別支援教育に携わる教員に対し、特別支援学校教員免許状取得のための認定講習会を開催</p> <p>ア 対象者 小中学校、高等学校および特別支援学校の教員</p> <p>イ 認定講習会 特別支援学校教諭免許状取得に必要な6科目</p> <p style="padding-left: 20px;">「特別支援教育の基礎科目」「知的障害に関する科目」「肢体不自由に関する科目」</p> <p style="padding-left: 20px;">「病弱に関する科目」「発達障害に関する科目」「視覚障害等に関する科目」</p>															
[受益者] 障害のある児童生徒(小・中・高等学校・特別支援学校)及び保護者						[想定される受益者数] 約1,500人（発達障害等の診断を持つ児童・生徒等）									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価							
特別支援学校による巡回相談を実施して小中高等学校に在籍する障害のある児童・生徒への適切な支援・指導を進めた。児童・生徒の障害の程度や認知面の偏りを把握し、支援や指導の方向性を探るための検査の依頼が多かった。免許法認定講習を6講座開講し受講者数は横ばいであった。								<input type="checkbox"/> 拡充		<input type="checkbox"/> 縮減		<input type="checkbox"/> 終期の見直し		見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合		<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> その他			

# 発達障害児教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H18 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					13 年								
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	802	802				文部科学省 特別支援教育に関する教職員等資質向上事業委託								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		2,124	2,013	597	723	802	県内大学講師の退官に伴い、県外大学講師を1名追加							
2月現計予算額の推移		2,124	2,013	597	723									
決算額の推移		2,062	1,910	446										
前年度までの 主な増減理由	講座担当の県内講師の大学退官に伴い、県外講師枠を1講座増やす必要があり、そのため報償費ならびに旅費が増額となった。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	特別支援学校教諭免許保有率 (目標)	(80.0%)	(80.0%)	(85.0%)	(87.5%)	(90.0%)	特別支援学級は含まない							
	実績	77.2%	77.1%	78.2%										
活動指標	特別支援学校の相談受理数 (目標)	(1,430)	(1,430)	(1,480)	(1,480)	(1,480)	特別支援学校において問い合わせのあった、児童・生徒に関する相談件数							
	実績	1,445	1,509	1,305										
他県の状況	特別支援学校教諭免許保有率 (平成28年度) 福井県 78.2% (全国平均 75.7%)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 移行支援充実事業 (役割分担)  小中学校等では、特別支援学校等による巡回相談を活用した発達障害等の児童生徒に対する支援を行うが、これらの支援内容が進学先へ円滑かつ適切に引き継がれることが必要であり、関連事業にて強化を図る。						

# 発達障害児移行支援充実事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) H31 年度		
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
<p>教育支援専門員が学校巡回にを行い、発達障害の可能性のある児童生徒に対する学校生活や学習上で必要な合理的配慮や教科のつまずきに対する支援内容について助言を行う。小中学校における個別の教育支援計画等の作成活用を促し、小中高等の移行期において円滑で適切な引継ぎを行う。</p>												
[事業内容]												
<p>○発達障害等特別な支援の必要な子どもの学校間連携体制づくり</p> <p>①県全体の発達障害児童生徒の一貫した支援体制の構築</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 小学校中学校への教育支援専門員配置</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 中高を中心に情報を引継ぐための研究協議会を開催</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 県内の教育、福祉、労働等関係者による連絡協議会を設置</p> <p>②発達障害児等実態調査</p> <p>③アドバイザー派遣</p> <p>④支援の引継ぎに関する研修会</p> <p>⑤保護者理解啓発リーフレット作成（5歳児の保護者全員に配付）</p>												
[受益者] 小学校中学校に在籍する発達障害等支援の必要な児童						[想定される受益者数] 約2300人(個別の支援計画等作成必要人数)						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		小中学校に在籍する支援が必要な児童生徒の個別教育支援計画等の作成に当たっては専門的なアドバイスが必要であるため、個別の教育支援計画等作成のための個別教育支援専門員を小中学校に配置する。				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
4月 市町別研修6回開催 5、10、2月 専門家チーム3回開催 5月～2月 教育支援専門員学校巡回 4月～10月 アドバイザー派遣発達検査 10月 保護者啓発リーフレット8000部配付								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 発達障害児移行支援充実事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	7,911	7,911					文部科学省 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業委託							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点							
当初予算額の推移		2,558	2,582	2,291	8,712	7,911	教育支援専門員の巡回地区が、H29年度の福井・吉田地区からH30年度は奥越・坂井・鯖丹地区の巡回を行う							
2月現計予算額の推移		2,558	2,582	2,291	8,712									
決算額の推移		1,860	1,697	1,281										
前年度までの 主な増減理由	小中学校に在籍する支援が必要な児童生徒の個別教育支援計画等の作成に対する専門的な助言を行う教育支援専門員の勤務日を、29年度の学校訪問の実績をもとに変更したため減額。													
[成果指標等の推移]														
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	個別教育支援計画等作成数 (目標)			(770)	(770)	(770)	小中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、支援が必要だが、支援計画等未作成約2300人について3年ですべて作成する。そのため1年につき約770名について作成							
	実績			898										
活動指標	個別教育支援専門員の配置学校数 (目標)				(90)	(90)	個別教育支援専門員3名が30校ずつ担当するため90校の配置							
	実績				83									
他県の状況	富山県 個別の指導計画作成率 88.3% 石川県 個別の指導計画作成率 87.3%					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害児教育推進事業 (役割分担)  引継ぎの体制構築に重点を置くため、支援の内容の検討については手薄になり、関連事業で充実を図る。また、関連事業で支援についてのアドバイスをうけることで、教員のスキルアップを図る。						

## 通級指導担当者支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]					関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]							
[事業目的]															
<p>すべての教員は、特別支援教育に関する一定の知識・技能を有していることが求められる。発達障害に関する一定の知識技能は、発達障害の可能性のある児童生徒の多くが通常の学級に在籍しているため必須であり、研修等の受講により専門性の向上を図ることが必要である。特に、通級による指導の担当教員は、発達障害のある児童生徒に対するよりよい指導に向け障害の特性に応じた専門性の充実に努める。また、平成30年度より始まる高校通級の体制整備および生徒の実態に応じた支援の充実に努める。</p>															
[事業内容]															
<p>○通級による指導担当教員の研修体制の整備 (拡) ①有識者による研修および連絡協議会(小中：年2回、高：年1回) (265千円)  (拡) ②推進会議 ア 小中：医療機関等関係者による学習支援(年3回) (39千円)  イ 高：高校通級推進協議会(年2回) (26千円)  ウ 特別支援教育の手引き(503千円)</p> <p>○通級による指導における指導方法の研究 (拡) ③対象児童生徒の実態把握・事例検討の研修 ア 参考図書等購入(221千円)  ④指導支援実践研究 ア 授業研究および指導・支援の検討会(6地区ごと年2回) (181千円)  イ 実践集の作成とデータ蓄積のHPの管理(336千円)  ⑤文部科学省事業説明会(市町教育委員会担当者の2名分の参加費) (87千円)</p>															
[受益者] 通級による指導を受ける児童生徒						[想定される受益者数] 519名(H29.5.1現在の通級指導対象児童生徒数)									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		通級による指導の取組みや、児童生徒の必要な支援についての理解を深めるために、研修会に市町教育委員会の指導主事にも参加依頼する。							
[事業の評価]															
前年度の実績					実績を踏まえた30年度の変更点					事業評価					
○通級による指導担当教員の研修体制 ①有識者による協議会 11月、2月 開催予定 ②医療機関関係者による学習推進会議 10月、12月、1月開催 ○通級による指導における各教科の補充指導方法の研究 ①対象児童生徒の実態把握・事例検討の研修 ・参考図書 各40冊購入予定、通級担当者、特別支援教育指導主事に配付 ○指導支援実践研究 ①授業の実践研究および指導・支援の検討会・8月～1月 各地区2回開催予定 ②実践集の作成とデータ蓄積のHPの管理・実践集作成 2月予定					高校通級の国の制度化に向け、本県の高校通級指導担当者に対する支援を強化する。					■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
										□ 継続	□ 休止	□ 完了			
										□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

## 通級指導担当者支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) H31 年度	
事業実施方法	直営					事業 区分					
補助率	—										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,658	1,658				文部科学省 発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業委託					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点				
当初予算額の推移				1,308	1,283	1,658	平成30年度から開始する高校における通級指導に伴う指導対策を追加				
2月現計予算額の推移				1,308	1,283						
決算額の推移				991							
前年度までの 主な増減理由											
[成果指標等の推移]											
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	実践報告数 (目標)			(30)	(60)	(90)	通級による指導担当者の指導事例のデータ蓄積数				
	実績			30	60						
活動指標	研修延べ受講者数 (目標)			(60)	(60)	(60)	担当者同士の情報交換だけではなく、有識者等の専門家による研修を受講				
	実績			60	60						
他県の状況	H28年度 ①通級対象児童生徒数 ②通級指導担当者数 富山県 ① 1,615人 ② 79人 石川県 ① 852人 ② 58人					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害児教育推進事業 (役割分担)  本事業は通級指導担当者に特化した事業であり、通級による指導を受けていない児童生徒の支援については手薄になるため、関連事業にて強化を図る。			

## 特別支援教育機器整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課		課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H30 年度	
事業実施方法	直営			経過年数						3 年			
補助率	—												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [		元気な社会 ]	政策 [		福井から人材育成 ]	関連する県の計画等	[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]													
学習障害等の障害の特性に応じた機器を計画的に導入し、障害の補償・代償による学習促進を図り学習能力を高めるとともに、学習支援データベースを構築し、通級指導等で利用できる環境を整備する。													
[事業内容]													
<p>(1) 学習支援データベースの構築と活用の促進</p> <p>○通級による指導担当教員の専門生向上を目指したICT機器（タブレット端末）に活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備台数 12台</li> <li>・タブレット端末</li> <li>・本体保護ケース</li> <li>・アプリケーションソフトウェア</li> </ul>													
[受益者] 通級指導対象児童生徒							[想定される受益者数] 約550名						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況	市町の通級指導担当者にタブレット端末を配付						
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価					
○指導支援実践研究（通級による指導） ①タブレット端末12台配付 ②タブレット端末活用研修 10月 参加者32名 ③授業の実践研究および指導・支援の検討会・8月～1月 各地区2回開催予定 ④実践集の作成とデータ蓄積のHPの管理・実践集作成 2月予定								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 特別支援教育機器整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 区分 事業 開始 年度 H28 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) H30 年度			
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,293	1,293						文部科学省 発達障害に関する教職員等の理解啓発・専門性向上事業委託					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移				3,576	2,052	1,293	高校通級に対応する機器整備						
2月現計予算額の推移				3,576	2,052								
決算額の推移				3,407									
前年度までの 主な増減理由	28年度より3か年で計画的に整備を進めており、初年度である28年度に重点的に機器を整備したため29年度以降は減額。												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標)						障害特性に応じた機器・補助具を導入し、障害の補償・代償による学習促進を図り学習能力を高めているが、定量的に成果を把握することは、困難である。						
	実績												
活動指標	指導事例数	(目標)		(45)	(90)	(135)							
		実績		48									
他県の状況	H27年度 ①通級対象児童生徒数 ②通級指導担当者数 富山県 ① 1,446人 ② 74人 石川県 ① 761人 ② 54人					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害児教育推進事業 (役割分担)  本事業は通級指導担当者に特化した事業であり、通級による指導を受けていない児童生徒の支援については手薄になるため、関連事業にて強化を図る。					



## 地域で学び育てる特別支援教育モデル事業

主要事業への記載		<input type="checkbox"/>	計上段階	29年度	課長	28年度	課長	27年度	課長	要求書	頁		
区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング		外		部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨
事業主体	県			事務区分	■ 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H25 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H31 年度		
事業実施方法	直営								経過年数			5 年	
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	1,323	441				882	切れ目ない支援体制整備充実事業補助金（国庫1/3補助）						
[予算額の推移等]												(単位：千円)	
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点						
当初予算額の推移		4,981	6,436	1,613	1,381	1,323	H30年度からは、交流未実施の小・中学校50校を対象として学校間交流を進めていく。 (H30：25校、H31：25校)						
2月現計予算額の推移		4,981	6,436	1,613	1,381								
決算額の推移		3,538	4,410	1,070									
前年度までの 主な増減理由	H27～H29年度の3年間で、小・中学校214校（公立264校中）が特別支援学校と交流を実施している。H30～31年度は未実施の小・中学校50校と学校間交流を進めていくために必要な交流コーディネーターの訪問回数を見直したことによる減額。												
[成果指標等の推移]													
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						特別支援学校が行う交流および共同学習を通して障害のある子とない子がともに学ぶことができるための支援体制を整えているが、定量的に成果を把握することは困難である。						
活動指標	学校間交流を実施する小・中 学校の新規指定校数 (目標) 実績			(35)	(35)	(25)							
		26	21	35	30		H25～27年度（国庫事業）は、居住地校交流を中心に実施。 H28年度（国庫補助事業）からは、学校間交流を中心に実施。						
他県の状況	石川県：H25～H27年度 文部科学省 「インクルーシブ教育システム構築事業（交流及び共同学習）」 ・モデル地域（特別支援学校1校、小学校31校、中学校13校 高校4校）を指定し、交流を実施。 ・小学部では地域の小学校11校で15名交流活動を実施。他の学部でも、 前年度に比べ交流実施回数は増加。 ・交流活動をとおして「合理的配慮」事項の分析と積み上げを行う。					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 特別支援学校就労応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
<p>高校および特別支援学校の生徒が行う企業実習のサポートを充実し、地元企業への一般就労を促進します。また、就労サポート企業による特別支援学校が行う作業学習の技術指導や実習受入等、職業教育の充実を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>①高校および特別支援学校の生徒が行う企業実習のサポート          企業実習のサポートおよび求人開拓を行う学校ジョブコーチを県内に5名配置          ・学校ジョブコーチの雇用          ・学校ジョブコーチによる実習先等の企業訪問          ・実習記録、訪問記録作成</p> <p>②作業学習時の技術指導や職場実習受入等企業（就労サポーター企業）の協力により特別支援学校の職業教育を充実          ・就労サポーター企業登録証（100個） ・就労サポーター企業技術指導補助（60回）</p> <p>③特別支援学校技能検定の実施による特別支援学校生徒の技能・労働意欲の向上          ・技能検定運営委員会開催（2回） ・技能検定本大会開催（2回）</p>												
[受益者] 特別支援学校中学部・高等部の生徒、および障害等支援を必要とする高校生						[想定される受益者数] 470人（特別支援学校高等部生徒420人 高等学校生徒50人）						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
学校ジョブコーチを2名増員、企業実習のサポート対象を全ての特別支援学校に拡充。就労を目指す生徒の更なる就職率向上を図る。  <b>【就労支援】</b> 就職を希望する障害のある生徒に対して企業実習時の支援等を実施 8月末現在の実施状況 ・特別支援学校 40名（内 高等部3年生27名） ・高等学校 9名（内 3年生3名、4年生1名） <b>【就労応援サポーター企業】</b> ・登録企業数 125社（8月末現在）								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 特別支援学校就労応援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	13,274	5,194		1,222	6,858	【国庫:文部科学省】 ・切れ目ない支援体制整備充実事業 (1/3) ・特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究 (10/10) 【その他】 ・学校ジョブコーチ社会保険料自己負担金						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移		7,898	8,279	8,524	13,555	13,274						
2月現計予算額の推移		7,898	8,279	8,524	13,555							
決算額の推移		6,809	7,134	7,105								
前年度までの 主な増減理由	技能検定に係る清掃用具等の消耗品整備が前年度で完了したため、技能検定に係る消耗品費を減額											
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	就職内定率(サポート実施の3年生) (目標)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(3年生就職者数/3年生企業実習サポート実施生徒数) × 100					
	実績	84.6%	89.5%	96.4%								
活動指標	企業実習サポート実施生徒数 (目標)	(30)	(50)	(60)	(75)	(75)	企業等への就職を目指す生徒で、対人関係や社会性等、就職に向けた力を培う必要がある生徒を対象とする					
	実績	36	48	53								
他県の状況	【外部人材による就労支援】 ・国の「キャリア教育・就労支援等の充実事業」により、19都道府県で就労コーディネーターを配置。企業開拓を業務とするものが殆どで、実習時の生徒援助を行う外部人材としては、福井県の「学校ジョブコーチ」と広島県の「ジョブスクールティーチャー」の2県。広島県は平成28年度より全特別支援学校(17校)にジョブサポートティーチャー(11名)を配置。 ・近県では富山県が高等特別支援学校2校に就労コーディネーターを配置し、就業体験先の開拓、指導内容を研究。 【技能検定】 ・平成29年度 27都府県で実施(清掃、接客、事務作業、ワープロ等) 平成30年度より3県が開催予定 ・近県の状況 石川県:清掃(H27)接客(H28)物流(H29) 新潟県:清掃(H24) 富山県:未実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無  <input type="checkbox"/> 有 事業名  (役割分担)				

## 障害者スポーツ・文化交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]				関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]					
[事業目的]												
障害のある子どもとない子どもがスポーツの楽しさを共に味わうなどして、障害のある人の社会参加や障害に対する理解を深める。												
[事業内容]												
○スポーツ交流												
①特別支援学校の児童生徒が地域の小・中・高等学校の児童生徒と合同練習、交流試合等のスポーツ交流を実施												
ア 実施校 県立特別支援学校、地域の小・中・高等学校												
イ 実施内容 ゴールボール（視覚障害）、卓球（聴覚障害）、ボッチャ・フライングディスク（肢体不自由）、ソフトボール、バドミントン、バスケットボール（知的障害） 講習会の報償費・旅費、競技用具等の消耗品費、借り上げバス等の借損料												
○文化・芸術交流												
①特別支援学校の児童生徒が地域の小・中・高等学校の児童生徒と音楽・造形等の芸術・文化交流を実施												
ア 実施校 県立特別支援学校、地域の小・中・高等学校												
イ 実施内容 合奏、音楽鑑賞、造形、書道等 打合せ等の旅費、制作に伴う消耗品費、借り上げバス等の借損料												
[受益者] 特別支援学校の児童生徒						[想定される受益者数] 特別支援学校児童生徒 540名						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた30年度の変更点				事業評価				
スポーツ交流では、8月に知的障害教育の特別支援学校が高校（武生商業高・北陸高）とソフトボールでスポーツ交流を実施するとともに、9月以降に肢体不自由など動きの制限のある児童生徒が参加できるボッチャを通して、小・中学校との交流を実施した。 また、H29年度よりスポーツに加え、文化・芸術活動にも事業拡充されたことから、壁画の共同制作や合奏などを通して特別支援学校と小・中学校との交流を実施した。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 障害者スポーツ・文化交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	清川 亨	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,463	2,463				文部科学省 学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解推進事業委託						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	実績等を踏まえた30年度の変更点					
当初予算額の推移			2,421	2,302	2,541	2,463	スポーツ活動で、肢体不自由のある児童生徒の競技として、フライングディスクを追加					
2月現計予算額の推移			2,421	2,302	2,541							
決算額の推移			1,501	1,523								
前年度までの 主な増減理由	スポーツ活動では、講習会（ゴールボール、ボッチャ）終了のため、減額。 文化・芸術活動では、学校間交流の指定校が25校（H29：30校）に減るため減額。											
[成果指標等の推移]												
区 分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	交流参加人数(高校生等) (目標)		(100)	(120)	(140)	(160)	本事業で実施した、スポーツ交流・文化交流に参加した生徒数					
	実績		91	124								
活動指標	(目標)											
	実績											
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 チーム福井アスリート強化事業 (役割分担)  全国障害者スポーツ大会に向けた競技力向上は、障害福祉課が担当。 本事業ではスポーツを通して障害のある人とない人の交流を推進する。					